

学校経営概要

三浦市で育てたい子ども像

○心身ともに健康で調和のとれた人間性豊かな子ども

現在、そして将来にわたって、「人として自らを信じ、向上心をもって生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○郷土と日本の歴史、経済、社会、文化を理解し、郷土三浦を愛する子ども

自分が置かれている状況を肯定的にとらえ、「三浦の魅力を心に温めて生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

○世界の国々を理解し、すべての国民と仲よくできる国際性をもった子ども

「相手の立場を理解しようと努め、自分も他人も尊重しながら生きていってほしい」という願いから生まれた子ども像である。

育てたい子ども像

自立・貢献

学校教育目標を左記のように設定した。理由は、児童にはたくましく生きぬく「自立」の力と、他者或いは社会に「貢献」する心を持ってほしいからである。自立することで他者に貢献し、他者に貢献することで、さらに自分自身が自立するということをめざし、このように設定した。これに関わって次の2点を、めざす子ども像とした。（＊は教職員の支援）

① 自分を好きになり、自分を高める子

＊子どもの自己肯定感、自己有用感を高める ＊個に応じた的確な指導・支援をする

② 他の人を認め、他の人を大切にする子

＊互いのことを理解できるようにする ＊子どもといっしょに動く

学校経営に関する基本方針

☆児童の「生きる力」を育み、自立・貢献ができる三浦らしい心豊かで調和のある児童の育成

(1) <学び合い>→○基幹学力を身につける ○話を聞き、意欲をもつ ○自ら考え、判断できる

○自らの言葉で伝え合える

(2) <認め合い・助け合い>→○お互いを認め合える ○温かなコミュニケーション

○仲間と笑顔で協力ができる ○挨拶ができる

(3) <思いやり>→○自分を大切にし、友達を思いやることができる

○命を大切にし、安全や健康を考えることができる

本年度の重点

(1) 児童が教育目標に向かっている

・学校生活の中で、児童は「自立」し、向上心をもって「生きる力」を育む。

・児童は、社会や他者に貢献することで、「自立」し、「生きる力」を育む。

・児童は、楽しく学校生活を送る。

(2) 教職員は、児童の健やかな成長のために自らを高め、貢献する

・児童一人ひとりが、安心して楽しく活動ができる学級・学年・学校を確立する。

・明るく元気な挨拶や優しい言葉の掛け合い、自己肯定感・自己有用感を高め、他者を思いやることのできる学級・学年・学校を確立する。

(3) 学校関係者との連携を深化する

・児童の向上心を高めるため、指導場面において外部協力者等の地域の教育力の活用を図る。

・児童の安全確保のために、地域や保護者と連携した活動の充実を図る。